

剣道部顧問・引率者 様
各剣道会引率者 様

愛媛県中体連剣道競技部
専門部長 小笠原 直輝

第77回愛媛県中学校総合体育大会剣道競技における諸連絡

1 日時・場所

- (1) 日 時 7月19日(土) 8:15～15:00 (個人戦)
7月20日(日) 8:15～15:30 (団体戦)

- (2) 場 所 愛媛県武道館 主道場

- (3) 日 程 ○ 7月19日(土)

- ・開 場 8:15～
※ 監督・引率者・出場選手・応援生徒のみ入場可とする。
- ・竹刀検量 8:20～ 9:50
※ 個人戦出場選手を優先する。主道場内の中央入り口付近で行う。
- ・応援者入場 8:30～
※ 保護者、観戦者等の入場
- ・ア ッ プ 8:45～ 9:50
- ・審判監督会議 9:30～ 9:50
- ・開 始 式 10:00～10:05
- ・個 人 戦 10:15～14:30
※ 個人戦競技中に個人戦出場選手のみ剣道場でアップを行っても構わない。
- ・表 彰 式 14:40～15:00
- ・事 前 練 習 競技終了後、1時間程度
※ 団体戦出場選手のみ
※ 団体戦出場選手の竹刀検量も同時に行う。

- 7月20日(日)

- ・開 場 8:15～
※ 監督・引率者・出場選手・応援生徒のみ入場可とする。
- ・竹刀検量 8:15～ 9:30
- ・応援者入場 8:30～
※ 保護者、観戦者等の入場
- ・ア ッ プ 8:30～ 9:30
- ・審判監督会議 9:10～ 9:30
- ・開 始 式 9:40～ 9:45
- ・団 体 戦 10:00～15:00
- ・表 彰 式 15:10～15:30

※ 男子 1・2試合場 女子 3・4試合場

2 競技規定について

- (1) (公財) 全日本剣道連盟「剣道試合・審判規則・細則」及び令和7年度(公財)日本中学校体育連盟剣道競技部申し合わせ事項によって行う。更に、以下を含めた試合・審判の方法とする。

ア (公財) 全日本剣道連盟「剣道試合・審判・運営要領の手引き」

(令和6年9月1日改訂)

イ 『令和7年度(公財)日本中学校体育連盟剣道競技部 剣道審判員 共通認識事項』

(令和6年10月1日)

- (2) 試合は、3分3本勝負とする。時間内に勝敗が決しない場合は、団体戦は引き分け、個人戦は2分ごとの延長戦を、勝敗の決するまで行う。

- (3) 延長戦における休息等は以下の通りとする。

・ 試合時間3分⇒延長2分⇒延長2分⇒【小休止(深呼吸をする程度)】

⇒延長2分⇒延長2分⇒【休憩(面を外して給水)】

※上記を繰り返す。

【小休止】⇒ 開始線の位置で10秒程度の深呼吸。

【休憩】⇒ 立ったまま納刀し、待機場所に戻って面を外し、所定の場所(※1)で水分補給を行う。試合再開までの時間は5分とする(※2)その際、監督は選手に指示をしない。

※1…給水場所については、会場の状況や使用上のルールに応じて決める。

※2…計時については、試合場主任もしくは時計係が所定の場所で計測する。

- (4) 選手は試合および練習においては、面マスクもしくはマウスシールドの使用を義務付ける。マスク及びシールドを着用していない場合は、着用してから試合再開する。
- (5) 鏑競り合い解消に至る時間は「一呼吸(目安としておよそ3秒)」とする。また、解消する場合は、双方がバラバラで下がらない。徐々に下がるのではなく、正しい鏑競り合いから鏑と鏑を競り合う力を利用して積極的(一気)に解消する。

3 日本中体連剣道競技部重点的な指導の取組の徹底

- (1) 「蹲踞」「始め」の場合：竹刀を抜きながら蹲踞する。
「終わり」の場合：納刀した後、右手を右太股においてから立ち上がる。
- (2) 相互の礼をする前や後、選手交替時における余計な所作はしない。(小手合わせ、胴づき、発声など)このような所作が見られた場合には、審判主任が監督に指導を行う。

4 剣道着や剣道具について

- (1) 剣道着の袖は肘が隠れる長さとする。肘が見えるものは使用しない。袖が短い道着を着用している場合は、着替えさせる場合があるため、注意をしておくこと。
- (2) 面紐の長さは40センチメートル以下とする。また、面紐を結ぶ位置が高過ぎないようにする。面紐が長い場合は、切る場合がある。
- (3) 華やかな装飾をしている剣道着・剣道具は、使用を控えること。

5 竹刀検量について

- (1) 主道場内正面入り口付近で竹刀検量を男女別で行う。
- (2) 出場選手が竹刀検量所に提出できる竹刀の本数は、1人3本までとする。
(柄革に学校名と氏名を書いていることを確認)
- (3) 検量に合格しなかった破損・不正竹刀は本部で終日預かる。その竹刀は試合終了後に本部まで取りに来ること。
- (4) 1日目の竹刀検量は8時20分～9時50分までとする。この時間帯は、個人戦出場選手の竹刀検量を優先する。ただし、1日目競技終了後の事前練習中の竹刀検量は団体戦に出場する選手の竹刀検量を行うことができる。個人戦の竹刀検量で合格した竹刀は再度検量を行う必要はない。
- (5) 2日目の竹刀検量は8時15分～9時30分までとする。
- (6) 時間外の再検量は大会本部（主道場正面）にて行う。
- (7) 検量シールがはがれた場合は、各試合場の審判主任に申し出て、再度シールを貼ってもらうこと。

6 審判監督会議について

審判・監督会議は武道館大会議室にて、1日目は9時30分、2日目は9時10分より行う。

7 大会時の監督・引率・外部指導者の服装・名札について

- (1) 服装は、ブレザー、白色（無地）ワイシャツ、グレー（無地）ズボン、エンジのネクタイ、紺色（無地）の靴下に準ずるものとする。
- (2) 試合場への時計の持ち込みは禁止とする。（腕時計も身につけない）
- (3) 引率・監督・外部指導者は、引率証、監督証、外部指導者証を用意し、着用すること。着用していない場合は、主道場への立ち入りを認めない。

8 主道場の立ち入り、観戦について

- (1) 主道場への立ち入りは、引率・監督・外部指導者・部活動指導員・出場選手・出場校の剣道部員とする。
- (2) 各学校の管理職については、名札を着用した状態であれば、主道場の立ち入りを認める。
- (3) 主道場での観戦については、ロールバック内で行うこと。

9 外部指導者について

- (1) 選手への指導は、主道場の外で行う。
- (2) 試合場への入場および監督席への着座は不可とする。

10 応援・撮影について

- (1) 保護者・観戦者の応援は2階観客席で行うこと。ビデオ撮影・写真撮影をしたりする場合は、フラッシュ撮影、フォーカスライトの使用は禁止とする。
- (2) 主道場に立ち入れる者の動画撮影は、ロールバックで行うこと。
- (3) 撮影した動画、写真等を無断でSNS等にアップロードすることは行わない。

11 オーダー表について

オーダーは下記のサイズで作成すること

	13cm	13cm	13cm	13cm	13cm	13cm
21cm	学 校 名	先 鋒	次 鋒	中 堅	副 将	大 将

12 荷物（剣道具）や靴置き場

- (1) 荷物は各校で整理整頓すること。
- (2) 剣道具を含む私物には、必ず記名をすること。
- (3) 靴は袋に入れて各自で管理をすること。出入口や靴箱に置かないこと。
- (4) 荷物は主道場観客席に整理・整頓をして置いて帰っても構わない。ただし、自己責任で置いて帰ること。紛失等の責任を大会本部は負わない。

13 駐車場について

保護者の駐車については、東駐車場又は西駐車場を利用すること。

14 その他

- (1) 愛媛県中体連HPにアップされている県総体剣道競技の要項を必ず確認しておくこと。
- (2) 靴袋・傘袋等（雨天時）を持参すること。
- (3) 喫煙は、所定の場所で必ず行うこと。

※ 以上、これらの件について何か御不明な点がありましたら、
松山東雲中学校 小笠原（089-941-4136）まで御連絡ください。よろしくお願いします。